役場売店の閉店に伴い 商品の取扱場所が変更になります

長年ご利用いただいてきた東海村職員共済会役場売店は、12月末をもって閉店します。

閉店に伴い、これまで売店で販売していた商品の取扱場所が、下記のとおり変更となります。また、一部の商品・サービスは役場での提供が終了となります。

変更日▼令和９年１月から

変更内容▼

取扱商品	取扱場所
パスポート申請用の収入印紙・茨城県収入証紙	住民課
都市計画図	都市政策課



取扱終了▼▽パスポート申請用以外の収入印紙・茨城県収入証紙 ▽切手・ハガキ ▽村指定ごみ袋 ▽イモゾーグッズ ▽コピー機

【問い合わせ】人事政策課人事政策担当（☎282-1711 内線1322）

ふるさと歴訪 ～自然を探して～

特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」に注意

茨城県環境アドバイザー
川島　省二

本年８月、東海村からほど近い常陸太田市で特定外来生物のクビアカツヤカミキリが確認されました。

当種は甲虫目・カミキリムシ科の昆虫で、中国や朝鮮半島などが原産。モンゴルからロシアの広い範囲に分布します。体長は約２～４センチメートル、ツヤがある黒色で首の部分だけが鮮やかな赤色です。成虫の発生時期は６月～８月です。桜や桃、梨、梅などバラ科の樹木を食い荒らして枯死させる深刻な被害をもたらしています。日本国内では２０１２年に愛知県で初確認し、現在17都府県で樹木被害が報告されています。県内では県西方面の14市町で確認されており、徐々に北へと進んでくるだろうと警戒していましたが、県央地域の自治体を飛び越え、常陸太田市で確認されたのです。久慈川を挟んで隣接する本村では他人事ではなくなってきました。

クビアカツヤカミキリの生態は、幼虫が樹木の内部に入りトンネル状に木を食い荒らし、成虫となって出てくる予定の木の穴から木くず（フラス）を大量に排出します。従って、いつの間にか樹木内部が空洞になってしまうのです。被害が進むと倒木を招き、最終的には樹木を枯らします。県西地域では公園の桜が被害を受けて伐採されているほか、果樹への被害も多く報告されています。東海村の名産である梨は、バラ科の果樹です。また、阿漕ケ浦をはじめ桜の名所にも細心の注意をお願いします。繁殖力や拡散能力が高い本種の被害を食い止めるためには、何よりも早期発見・早期防除が不可欠です。木の根元付近にひき肉状の木くずの堆積が認められた際には、排出口となっている樹木の穴を塞ぎ、成虫が外部に出られないようにして被害拡大の予防をしてください。クビアカツヤカミキリは、過去に前例がない速さで本県で侵略しています。行政と一体となり、積極的に早期防除をしていくことが求められています。



【クビアカツヤカミキリ】

UD FONT